

## 単元名 4 心の動き 一方言と共通語

配当時間 2時間

単元の目標 (1) 方言と共通語の特徴や違いについて理解することができる。  
 (3) 自分たちが普段用いている言葉に興味や関心をもち、学んだことを自らの言語生活に生かそうとする。

## 標準的な展開例

10210205\_001

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 方言の特徴を知り、方言の役割について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本時の学習課題をつかむ。</li> <li>★ 方言の特徴と役割を知ろう。</li> <li>○ 方言と共通語(p. 121～p. 122)を読み、自分たちの地域で使われている方言や、家族や地域の人から聞いた方言について話し合う。</li> <li>○ 方言の分布の仕方には理由があることを確認させる。</li> </ul> <p>○ 方言の特徴についてまとめる。</p> <p>2 方言と共通語のそれぞれの役割や使用場面について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 前時の学習を振り返り、本時の学習課題をつかむ。</li> <li>★ 方言と共通語の役割とよさについて考えよう。</li> <li>○ 共通語(p. 122)を読み、理解する。</li> </ul> <p>○ 方言と共通語、それぞれのよさ(p. 122)を読み、それぞれの役割とよさについて考える。</p> <p>○ 生活の中で、方言のよさや共通語のよさを感じた場면을発表する。</p> <p>○ 「方言と共通語」についての学習を整理し、自分の考えや思いをまとめ、発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 旅行先や、地域のお年寄りの人との会話で経験したことや、方言について知っていることを発表させる。</li> <li>・ 方言による音の高さの違いについて、教科書(p. 121)を読ませたり、参考資料を配付したりして、同じ言葉であっても高さに違いがあることに気付かせる。</li> <li>【評】方言分布図などを参考に、方言の分布の特徴を読み取る活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ノートなどを見直して、方言の特徴を復習する。</li> <li>・ 「捨てる」と「なげる」を例に出しながら、共通語について正しく理解させ、その価値や使用場面について確認する。</li> <li>・ 方言と共通語のそれぞれのよさを理解させ、日本の文化や伝統を大切にする態度を育てる学習としたい。</li> <li>【評】方言と共通語のよさと役割を理解する活動を通して、「知識・技能」を評価する。</li> <li>・ テレビの中での使用例などを例に挙げると、イメージが湧きやすい。</li> <li>・ 生徒自身の言語生活の向上につなげたい。</li> </ul>

## 【 備 考 】

この単元では、物語と記録文を主に「展開」という観点から読み取することを目的としている。学習指導要領解説にあるように、「構成」とは文章の組み立てなどを静的に捉えたもので、「展開」とは、人物の心情や事実の変化に沿って動的に捉えたものである。「構成」を前提としつつ「展開」に注意し、書き手の思考の流れを生き生きと読み取らせたい。

また、「星の花が降るころに」は、友情の尊さを理解する内容となっている。これは道徳のB－(8) 友情・信頼にあたり、これを機会に、互いに励まし合い、高め合う友情について考えさせたい。「大人になれなかった弟たちに……」は、生命の尊さを理解し、家族の愛情の深さに気付く内容となっている。これはD－(19) 生命の尊重と、C－(14) 家族愛にあたり、かけがえのない生命を精いっぱい生きることの尊さと、家族の愛情の深さや家族の絆を深めようとする気持ちに気付かせたい。